



東岸山 西林寺 全景



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖のことば

肉体はおとろえるが

こころの眼がひらく

人生の晩年というものは

おもしろい

今日まで生きて

いのちのふかさが

見えてきた

仏教壮年会 あれこれ

納涼ビヤガーデン

7月30日(土)



住職の焼きそば拝見

恒例となりました納涼ビヤガーデンを行いました。50名以上の参加者で、宝海寺仏壮会からの参加や蓮華の会のご協力もいただき大変盛大でした。

りありがとうございました。今年はそのうめん流しも復活しました。また、お寺で5時に撞く梵鐘を、当日撞きにきてくれた子どもたちも、特別参加してくれました。



そうめん流し

坂町三カ寺仏教壮年会交流会

9月13日(火)西林寺にて、西林寺・宝海寺・西昭寺三カ寺の第5回仏教壮年会交流会を行いました。毎年行なう会で、今年も西林寺の担当でした。「讃仏偈」のおつとめの後、西林寺ご住職のご法話をいただき、仏事作法講習や、各寺活動報告と意見交換をして親睦を深めました。

仏教壮年会予定

- 十月・境内庭木の剪定
- 十二月・境内と本堂煤払い
- 十二月・除夜の鐘・火の番

キッズサンガ

7月26日(火)小学生39名の参加がありました。暑い中、仏教壮年会と蓮華の会の皆さまに、お手伝いいただきました。



記念撮影



お墓の中には、江戸時代のえらいお坊さんが入っています



紙飛行機



そうめん流し「ミニトマトも流してね！」



お焼香の仕方をひとりづつ坊守さんに習いました



6年生になぞなぞしてもらったり、紙飛行機を作りました

編集後記

たくさんの方の行事を掲載したいのですが、紙面の都合でそうもいきません。少しでも多く情報を提供できる、寺報となるよう努力して参ります。ご理解ご支援ご愛読、よろしくお願い申し上げます。

法座案内

永代経法座

十月十日(月)昼席より

十三日(木)朝席まで

講師 山下義円師

仏教婦人会報恩講法座

十一月十七日(木)昼席より

十九日(土)朝席まで

お斎は十七日(木)11時より

講師 西林寺住職

報恩講法座

十二月六日(火)昼席より

九日(金)朝席まで

講師 鈴木善隆師

表題「西林寺だより」

表題の「西林寺だより」の文字は、平成8年刊行の記念誌『東岸山西林寺』の表題の文字を転用したものです。

この文字を揮毫いただいた上條地区の山本戸宗治氏は、長年、西林寺の門徒総代として、そして、ご法座の帳場のお手伝いをいただきました。また、行事の度ごとに筆を執っていただき、これまで西林寺の護持発展にいただいたご尽力とご労苦は言い尽し切れないものがあります。

平成21年ご逝去されましたが、ご遺族にお願いして、記念誌の「西林寺」の文字を転用させていただきました。また「西林寺」に続く「だより」の文字は、山本戸氏のご長女、さちえさまによるものです。



聞思録(もんしるく)

ドイツの心理学者、エーリッヒ・フロムが、興味深い問いかけをしています。それは、人生を生きてゆくについて、「もつこと」と「なること」は何れも欠かすことは出来ないけれども、そのどちらにウェイトをおいて生きるべきか。

「もつこと」とは、地位や財産や名誉等、その所有を求め、健康にこだわる生き方であり、「なること」とは、自身を少しでもより良い人間に心を育てて、心豊かに生きることを目指す生き方と言えます。

そして、現代は「もつこと」ばかりが要求されて、「なること」が軽視されつつあるのではないかと警鐘をならしてあります。まさに「もつこと」ばかりを優先する風潮が、よく耳にする悲惨な事件や政治家の汚職等が起こる原因の根底にあるようです。

「もつこと」に重点をおく宗教もあります。しかし、本当の宗教とは、「なること」を指すものです。仏教は、そして浄土真宗は、いかにして心を育て、少しでもより良い人間になってゆくか、それを教えています。「育つ」という言葉には、「巣立つ」と「添え立つ」というふたつの語源があるそうです。「巣立つ」とは、小鳥が自分の巣から飛び立

つとか、卒業する時に学窓を巣立つという言葉方をします。まさに身体を育てるという意味にあってはまります。「添え立つ」というのは、花や野菜を作るとき、何か杖になる支柱を添えて育てることを意味します。子どもにとつて、親や学校の先生が添え立つ杖として、かたわらにいてくださるからこそ、子どもは心を実に育ててゆくことが出来るのです。しかし、大人になるまでは、杖となり、支えとなってくれる人はそれなりにいるでしょうが、大人になってからはどうでしょう。

肉体はおとろえるが
このころの眼がひらく
人生の晩年というものはおもしろい
今日まで生きて

この「杖のことば」は、現代の妙好人、榎本栄一さんの詩です。浄土真宗の教えを、そしてお仏壇にお参りすることを添え立つ杖として、心を育ててゆかれました。どんな境涯であつても、いのちの深さに出遇える「心の眼」を開いてゆける喜びを詠まれたものです。表紙掲載の法語に「杖のことば」と名付けたのは、これらの法語を皆さまの添え立つ杖にしてほしいという願いからです。添え立つ杖をもつて心を育てて、いかなる人生の困難も、よく乗り越えてゆける確かな心の眼を開いてゆきたいものです。

一日研修旅行

6月20日(月)一日研修旅行が行われました。はじめに安来市の勝願寺に参拝しました。保育園の園児らに出迎えられ、手作りケーキのおみやげを私たち一人ひとりに手渡して、いただきました。予期せぬ出来事にみんな感激いたしました。また、ご住職はじめ、各教化団体の皆さまからも温かい歓迎を受け、仏さまのご縁に感謝しました。次に、同じ安来市の清水寺で精進料理をいただき、横山大観のコレクションで有名な足立美術館に行きました。近代日本の名画や北大路魯山人らの陶芸作品を身近に楽しむことができました。また、米国の専門誌で13年連続



園児のお出迎え

仏教婦人会 あれこれ

初参式・降誕会(ごうたんえ)

5月21日(土)西林寺本堂において、新しい生命の誕生を祝う初参式が行われ、今年は7名のお子さまとご家族が参加されました。親鸞聖人のご誕生日に執り行われる初参式は、親子そろって仏縁に遇う、人生最初の大切な儀式です。7名のお子さまは、住職から聖典と念珠をいただき、門徒の仲間入りをされました。



ご住職より念珠をいただきました



初めてのおつとめとお焼香

降誕会法座、昼席に引き続き、仏教婦人会によるアトラクションが、門信徒会館で行われ、歌や踊りで盛り上がり、楽しいひとときのなか、親鸞聖人のご誕生日をお祝いしました。



勝願寺にて

日本一に選ばれた、枯山水庭・白砂青松庭・苔庭などの閑雅な風情の日本庭園は、眺めているだけで心が癒される、贅沢なひとときでした。

寺報編集委員

- 委員長・河野 行昭 (住職)
- 委員・植花 富皇 (総代会)
- 委員・石渡 英明 (総代会)
- 委員・奥廻 幸恵 (仏教婦人会)
- 委員・井上 逸子 (仏教婦人会)
- 委員・正原 弥生 (仏教婦人会)
- 委員・山本 泉 (仏教婦人会)
- 委員・幸野 輝彦 (法務員)
- 事務局・林 昭治 (仏教壮年会)
- 顧問・奥 紘太郎 (総代)
- 顧問・河野 麻耶 (坊守)
- 顧問・吉原 幸枝 (仏婦会長)
- 顧問・大廻 邦雄 (仏壮会長)

ご意見ご感想等ございましたら、委員までご連絡いただければ幸いです。



編集委員会開催中

熊本地震義捐金報告

(西林寺本堂設置義捐金箱) 金額(58,538円)

平成28年8月に送金しました。

おみがき・草刈り

8月11日(木)朝事後、仏婦・仏壮合同で、本堂内陣の仏具のおみがきと、境内の草刈りを行いました。



石垣草刈中



本堂おみがき

盆踊り



提灯の明かりで盆踊り

8月15日(火)孟蘭盆会法座、夜席に引き続き、境内で恒例の盆踊りが行われ、刳条地区の太鼓と上條・森浜地区の盆笛、そして上條地区のクドキに合わせて踊りました。

お斎のご案内

十一月十七日(木) 11時より
申し込み期限 十一月四日(金)まで
みなさまのご参加を
お願いいたします

報恩講

報恩講とは浄土真宗の開祖、親鸞聖人のご命日をご縁として、み教えをこの身に聞かせていただく真宗門徒として、一年で最も大切な行事です。

聖人は思い通りにはいかない「いのちの現実」を深く見詰め、その解決を阿弥陀如来のご本願の上に問い訪ねてゆかれました。それは人生において「本当に大切なものは何か」が知らされてくることであり、本当の自分との出遇いでもあります。み教えに育てられて初めてその事実に気付かされま



朱ろうそく

報恩講お参り日程

報恩講三寺参り

浜宮地区

十月十四日(金) ～ 十八日(火)

植田地区

十一月十一日(金) ～ 十五日(火)

森浜地区

十一月二十一日(月) ～ 二十六日(土)

西側地区

十一月三十日(水) ～ 十二月二日(金)

上條地区

十二月五日(月) ～ 十三日(火)

* 六日(火) ～ 九日(金)はご法座

中村地区

十二月十四日(水) ～ 十六日(金)

刳条地区

十二月十九日(月) ～ 二十二日(木)

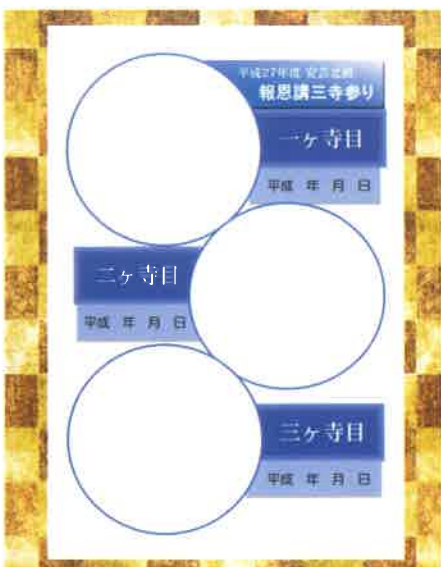
その他の地区及び町外

随時(西林寺までご連絡ください)

西林寺の所属する安芸北組23カ寺では、各寺で10月から翌年の1月まで勤められます「報恩講」及び「御正忌報恩講」のご法座に、スタンプリー「報恩講三寺参り」を開催しております。

安芸北組23カ寺と広島別院の「報恩講」及び「御正忌報恩講」のご法座に、お参りして帳場で所定の台紙にスタンプを押してもらってください。3つ揃えば記念品を贈っています。この機会に家族・近隣のみなさまお誘い合わせて、ご参拝お聴聞しませんか！

詳細は西林寺、または安芸北組のホームページまで。



本シートにスタンプをもらおうと記念品がいただけます。

御挨拶

門徒総代長 奥 紘太郎

平素より西林寺の護持発展にご理解とご協力をたまり誠にありがとうございます。

6月4日に門徒総代会定例総会を開きました。皆さまからお預かりしております門徒講金を元に活動しております門徒総代会の収支決算をご報告いたします。

また、本願寺では今月より専如(せんによ)門主伝灯奉告法要が修行されます。

西林寺では明年4月26日から3日間と5月10日から2日間の日程で団体参拝をする予定です。この法要と7年後にお迎えする親鸞聖人御生誕850年・立教開宗800年慶讃法要、それに伴う記念事業についても随時ご報告申し上げます。今後ともご理解とご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

合掌

平成27年度 門徒総代会会計収支決算報告

【 収入の部 】

平成28年3月31日現在 (単位:円)

項目	金額	摘要
繰越金	254,131	平成26年度より
門徒講金	3,471,000	
助成金	400,000	西林寺より
寄附金	150,000	院号申請者より (小坂大策様・樋口美代子様・山際昭雄様)
回金	300,000	門信徒会館特別会計より
雑収入	322	預金利息
合計	4,575,453	

【 支出の部 】

項目	金額	摘要
各種賦課金	1,582,240	本願寺賦課金・安芸教区賦課金・安芸北組組費
組総代会費	11,000	安芸北組総代会へ
総代会議費	233,690	定例総会費(役員会・監査会・地区代表者会議)
総代研修費	29,000	総代研修諸費
建物保険料	808,033	共済保険(本堂1億5千万円・庫裏2千万円) 火災保険(本堂3千万円)
修繕費	100,000	境内樹木剪定
設備備品費	223,200	本堂外陣側面一部カーテン設置・本堂底漏水工事
印刷費	48,168	封筒・門徒講金受領書
慶弔費	26,600	
電気代補助	300,000	西林寺へ
上下水道費	21,009	
教化助成費	152,592	仏婦10万円・仏壮5万円・活性化委員会
教化教材費	68,100	教区広報誌『見真』購読料
門徒講還付金	322,800	
雑費	50,733	境内松剪定謝礼、振込手数料
予備費	0	
積立金	400,000	積立金会計へ(積立金会計1,009,800円)
合計	4,377,165	

* 収入合額 4,575,453円 - 支出合計 4,377,165円 = 198,288円 (次年度へ繰り越す)

上記決算書の監査の結果、いずれも適正かつ正確に処理されていることを認証する。

平成28年5月2日

監査委員 奥 廻 豊太郎 ㊞
監査委員 植 花 富 皇 ㊞